

## PCR検査トライアル

令和3年2月19日～26日

2月19日～26日 広島県が中区の居住者6,000人と事業所就労者2,000人を対象に、無症状者のPCR検査を無料で実施した。会場は旧市民球場跡地で、ウォークインおよびドライブスルー方式で検体を採取。その後の本格的なPCR検査集中実施に備えて、運用の構築と検証を行った。臨床検査センターは打合せ段階から参加し運用について提案した。また検査では初めてPCR検査プール方式を導入した。「初のシステムを通さない大量検体」「初のプール作業」「初の検査工程」と、臨床検査センターにとってもまさにトライアルだったが、職員が準備を重ね団結して乗り越えた。またメディアの関心も高く数社の取材に応じたのも初めての経験だった。

受託件数： 居住者3,238件、事業所就労者1,678件

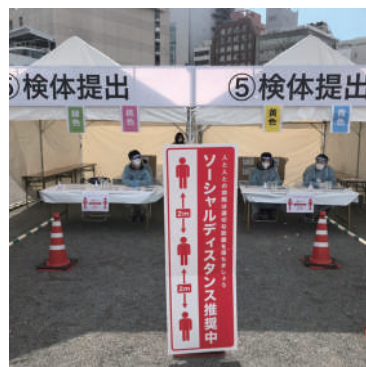


写真 旧市民球場跡地 検体受付場所

### 近畿日本ツーリスト 支店長コメント

弊社が広島県より委託を受け実施した初の事業であり、臨床検査センターには打ち合わせ段階から事業構築を一緒に取り組んでいただきました。

検査体制の構築、検体の輸送、現場での検体の扱い方に関して多くの助言や、事業開始後は遅い時間帯まで検体が届くのをお待ちいただくなど、親身に対応いただきました。当事業は臨床検査センターのお力なくできない事業でした。

近畿日本ツーリスト株式会社 広島支店長 増本義伸

## 春のPCR検査集中実施・事業所集中実施

令和3年4月～5月

人流が増加し感染の機会が増える4～5月に、対象者を絞り検査を徹底実施することで、感染の拡大防止を目指して広島県が設置した。プール方式で実施。



写真 5月3日三原港初日のPCR検査の受付を待つ受検者の行列(1,140人/日)

設置場所	受託件数	受託時期
広島駅	22,304	4月～5月
県庁の森	14,320	4月～5月
広島市内15の大学	6,741	4月
福山駅	10,928	4月～5月
三原港	6,663	5月
広島市内の薬局204ヵ所	25,969	4月～5月
福山市内の薬局108ヵ所	10,535	4月～5月
県内事業所集中実施	69,355	5月

受検者の急増に加え、遠方からの検体集荷に苦労した。福山駅や三原港からの検体は、1日1回20時の集荷だけでは結果の当日報告に間に合わないため、事務職員が新幹線で1～2往復し、検体集荷を行った。福山市内の薬局、事業所の検体回収は、事前に研修を実施した外部業者に委託した。

### 株式会社 ロジクエスト中国 グループ長コメント

福山市内の薬局からの検体集荷を弊社が担当いたしました。集荷業務の開始前には、福山市内の現地まで臨床検査センター職員の方が来られ、検体の取り扱い方などを丁寧に教えていただきました。PCR検体集荷は初めての経験でしたが、不安がっていたドライバーも安心して集荷にあたる事ができました。

株式会社ロジクエスト中国グループ長 久岡 伸司